

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	建物健全性モニタリング小委員会	主 査 名：中嶋唯貴 就任年月：2023 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：五十田博 (主 査 名：菊地 優)
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	(設置目的) 計測結果から迅速な建物の健全性評価や機能モニタリングに関わる技術の開発と性能向上、及び技術の普及、モニタリングによる有益な情報を広く社会に届けることを主たる目的とする。 初年度：国内外の既往文献調査と PD を開催する。 2 年度：被災後の各被害フェーズに対するモニタリングの状況を把握する。 3 年度：モニタリング情報の有効利用法についてシンポジウムを開催する。 4 年度：4 年間の活動内容をまとめる。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：中嶋唯貴 (北海道大学) 幹事：肥田剛典 (東京大学)、向井洋一 (神戸大学) 委員：池田芳樹 (京都大学)、楠 浩一 (東京大学)、白石理人 (清水建設)、 ジロン・ニコラ (日建設計)、薛 松濤 (東北工業大学)、佐藤貢一 (大成建設)、 西村 功 (東京都市大学) 丸谷翔平 (日本設計) 諏訪 仁 (大林組) 曾根孝行 (竹中工務店) 渡壁守正 (広島工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	—	
2023 年度予算	140,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：—

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	—
講習会	—
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. シンポジウム「建物から人間に至るモニタリング技術の取り組みと災害時への適用」『同名資料』 参加者数 71 名 (現地参加者 71 名)
大会研究集会	—
対外的意見表明・パブリックコメント等	—
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 3 年間の活動成果を踏まえシンポジウムを開催する。 2. 応急対応復旧期におけるモニタリングの有効利用について検討した。
委員会活動の問題点・課題	1. モニタリングの適用範囲を明らかにしたがまだまだ復旧期における利用は限定的である。利用範囲を拡大すべく研究を展開していく必要がある。